

ピーター・カズニックさんを迎えて

# 平和な日本、沖縄をつくるために

日本を「戦争する国」にさせないために、今、すべきこと  
7月1日、安倍政権は「集団的自衛権の行使を容認する」と憲法解釈を変更しました。同日、沖縄・辺野古では新しい米軍基地をつくるための工事が開始されました。こうした政府の横暴に対して、国内のみならず海外からも批判の声が上がっています。  
このシンポジウムでは、米国アメリカン大学のピーター・カズニック教授を招き、平和な日本、沖縄をつくるために今、何が必要かを一緒に考えたいと思います。また、辺野古ポーリング調査強行が目前に迫る沖縄現地からの報告も予定しています。奮ってご参加下さい。



ピーター・カズニック教授

ニューヨーク出身。アメリカ近現代史専攻。1995年スミソニアン博物館で原爆の人的被害の展示が中止されたとき学長を説得してアメリカン大学での展示を実現させた。その年以來、米国学生を毎年8月に広島・長崎に連れてきている。本年1月に「辺野古移設反対」声明を発表した海外著名人の一人。



のりまつ さとこ  
乗松 聡子 代表

東京出身。カナダ在住。慶応義塾大学文学部卒、ブリティッシュコロンビア大学経営学修士。同大学で異文化間コミュニケーションを教えた後、平和教育団体ピース・フィロソフィー・センター設立、代表。バンクーバー九条の会世話人。『アジア太平洋ジャーナル：ジャパンフォーカス』編集コーディネーター。

**8月1日（金）18時開始**

**会場：エルおおさか709号室**

**資料代 500円**

呼びかけ（50音順）

沖縄意見広告運動・関西事務所\沖縄とともに基地撤去をめざす関西連絡会  
沖縄の高江・辺野古とつながる奈良の会\「しないさせない！戦争協力」関西ネットワーク  
米軍犯罪被害者救援センター\辺野古に基地を絶対つくらせない大阪行動

お問い合わせ：06-6328-5677（沖縄意見広告運動・細野）